

陳 情 文 書 表

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第114号（7.2.27） 4月からの市バス路線廃止や変更の見直しを求める陳情
陳情の要旨	1. 33系統の廃止を見直すこと。 2. 19系統は阪急御影～阪神御影間は現状どおりの便数とし減便しないこと。 3. 市民の生活を無視した、バスの路線やダイヤの変更は考え直すこと。
陳情者の住所及び氏名	神戸市東灘区 市民の足を守る東灘の会 三神 常光
送付委員会	予算特別委員会

神戸市議会議長 坊やすなが様

2025年2月27日

4月からの市バス路線廃止や変更の見直しを求める陳情

陳情団体 市民の足を守る東灘の会
陳情者 三神 常光
住所 〒
神戸市東灘区

日頃、市民の足を守っていただきありがとうございます。

来年4月から市バス路線の一部が廃止や減便、区間が短くなるなど変更となるとの予定をお聞きしています。特に東灘区に対する悪影響が多い計画となっており、山と海に囲まれたこの地域でこれでは安心して生活できません。

私たちの会は、これまでも便数減の計画に対して市民の足を奪ってはならないと声を上げて、ダイヤの見直しや減便に反対した署名も集めてきました。それから数年してまたこのような廃止や減便の計画がでてきたことは残念でなりません。多くの方が利用されているバスです。利用者が少ないと言うならば、即減らすという考えではなく、利用者の声を聞いてどうすれば増やせるのか、考えるべきではないでしょうか。

とくに、すでに交通局にも意見が届いていると思いますが、33系統の廃止は見直ししてほしいという声が上がっています。

33系統は、乗車人数が少ないとのことですが、「バスの車内アナウンスで急に廃止が言われてびっくりした。急すぎる。」「毎日の孫の幼稚園の登園に使っている。」「病院や介護施設に通うのになくてはならない。」「足が悪いので最寄りのバス停が無くなると仕事にいけなくなる。食べていけない。」と切実な声が上がっています。日常生活に大きな影響が出てきます。

また、生徒への登校の支援で19系統のうち神戸大学附属中学校までの間は便数が増えるということですが、その分、南方面へのバスが減る可能性があると聞きました。御影中学校と御影高校の生徒を含め阪神御影までの通勤・通院客がいます。日中も含めて、便数の減につながらないように求めます。

昨年10月にはバス料金が20円引き上げられました。その上でもさらに市民の足を奪うような計画を考え直してください。

記

1. 33系統の廃止を見直してください。
2. 19系統は阪急御影～阪神御影間は現状どおりの便数とし減便しないでほしい。
3. 市民の生活を無視した、バスの路線やダイヤの変更は考え直してください。